

平成24年度 第2回岩見沢市中心市街地活性化協議会報告

◆日時 平成24年6月20日(水) 13:30～14:20

◆場所 岩見沢商工会議所 第1会議室

◆出席者 協議会会員 出席 16会員 欠席 4会員
出席者数 31名

◆協議事項

(1) 平成24年度岩見沢市中心市街地活性化個別事業申請について

◆報告事項

(1) 協議会における個別事業の審査結果について

(2) 岩見沢市における事業の審査結果について

(3) その他

中心市街地活性化基本計画の計画変更(第8回)について

次期岩見沢市中心市街地活性化基本計画の作成について

岩見沢都市開発(株)特別清算について

◆議事概要

○平成24年度岩見沢市中心市街地活性化個別事業申請プレゼンテーション

C-32 岩見沢子育てサポーターズまZaらぼ 代表 藤田 絵里香
総事業費 1,200,000円、補助金 600,000円

○平成24年度第2回岩見沢市中心市街地活性化事業審査スケジュール

6月20日(水) 協議会でプレゼンテーション

6月21日(木)～6月25日(月) 質問事項の受付

6月29日(金)まで 質問事項への回答

7月2日(月) 審査得点票の回収締切日

7月4日(水) 審査結果を岩見沢市へ提出

7月11日(水) 岩見沢市で補助決定

◆報告概要

○協議会における個別事業の審査結果

C-10 4条通り活性化事業 85.5点

C-24 ハッピーレインボープロジェクト 71.8点

C-29 岩見沢バーガー研究会 61.1点

C-30 であえーる岩見沢を拠点とした芸術文化及び情報発信事業
80.8点

C-31 岩見沢バンドサークル事業 63.7点

○岩見沢市における事業の審査結果

事業名	C-10 4条通り活性化事業		
事業者名	岩見沢市4条通り商店街振興組合		
【評価】			
<p>協議会の評価は85.5点と最も高く、協議会の構成員からも事業を評価する意見が大半でありました。また、7つの事業を計画し、であえーる岩見沢のグランドオープンを機に、年間を通じて中心市街地の更なる賑わい創出を取り戻そうという意欲的な取り組みであることから、要望通りの補助金額を支援する。</p>			
【補助予定額】			
要望額	2,725千円	補助予定額	2,725千円
【付帯条件】			
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の新たな取り組みとその効果を提出すること。 ・他の商店街との連携など中心市街地の回遊性を高める取り組みを実施すること。 ・集客数年間20,000人の根拠とどのようにカウントするのかについて提出すること。 ・今後、どのように自己資金を確保していくかについて提出すること。 ・団体として事業を実施する旨の意思決定がわかる書面（総会や理事会などの議事録）を提出すること。 ・「中心市街地活性化事業補助金の事業遂行に関する注意事項」を遵守して、補助事業を実施すること。なお、遵守していない場合には、補助金の交付決定を取り消す場合があります。 			

事業名	C-24 ハッピーレインボープロジェクト		
事業者名	ハッピーレインボープロジェクト 松川敦子		
【評価】			
<p>協議会の評価は71.8点と一定の評価を受け、市民交流施設として再生を図る「であえーる岩見沢」の交流空間活用や中心市街地で行われる他のイベントに合わせて事業を実施することにより、中心市街地の賑わいの創出を図る取り組みである。</p> <p>また、実施される事業は、幼児から高齢者の幅広い年齢層を対象とし世代間交流が図られ、さらに活動実績もあり、中心市街地の交流人口の増加に寄与することから、要望通りの補助金額を支援する。</p>			
【補助予定額】			
要望額	498千円	補助予定額	498千円
【付帯条件】			
<ul style="list-style-type: none"> ・商店街スタンプラリーの参加店の増加や他団体との連携によるイベント数の増加により、年間を通じて更なる集客の増加を図ること。 			

- ・アンケートの実施など、それぞれの事業効果を把握すること。
- ・今後、どのように自己資金を確保していくかについて提出すること。
- ・団体として事業を実施する旨の意思決定がわかる書面（総会や理事会などの議事録）を提出すること。
- ・「中心市街地活性化事業補助金の事業遂行に関する注意事項」を遵守して、補助事業を実施すること。なお、遵守していない場合には、補助金の交付決定を取り消す場合があります。

事業名	C-29 岩見沢ご当地グルメ「岩見沢バーガー」普及事業		
事業者名	岩見沢バーガー研究会		
【評価】			
協議会の評価は61.1点と一定の評価を受け、事業として定着することや広く事業をPRすることで、岩見沢市の知名度を高め、市外から中心市街地に人を呼びこむことが期待されている事業である。しかし、他地域ですでに実施されているなど中心市街地活性化に寄与するか疑問という多くの意見があることから、以下の8項目の付帯意見を実施することを条件に、要望通りの補助金額を支援する。			
【補助予定額】			
要望額	600千円	補助予定額	600千円
【付帯条件】			
<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地で岩見沢バーガーを販売する店舗を2店舗から更に増加すること。 ・ご当地バーガーでのまちおこしは他地域でも行われていることから、差別化を図る取り組みを実施すること。 ・市外から人を呼び込むだけでなく、市民にどのように購入してもらうかの取り組みを実施すること。 ・アンケートの実施など、事業効果を把握すること。 ・3年目以降、市からの補助金が無くなり事業費が半減しているが、3年目以降どのように事業を展開していくかについて提出すること。 ・数値目標の根拠と測定方法を提出すること。 ・団体として事業を実施する旨の意思決定がわかる書面（総会や理事会などの議事録）を提出すること。 ・「中心市街地活性化事業補助金の事業遂行に関する注意事項」を遵守して、補助事業を実施すること。なお、遵守していない場合には、補助金の交付決定を取り消す場合があります。 			

事業名	C-30 であえーる岩見沢を拠点とした芸術文化事業および情報発信事業		
事業者名	特定非営利活動法人 はまなすアート&ミュージック・プロダクション		
【評価】			
協議会の評価は80.8点と高く、協議会の構成員からは、であえーる岩見沢の賑わ			

い創出への寄与や集客の高さ、長期的展望にたつて事業が計画されているなど評価する意見であり、中心市街地の賑わいの創出や基本計画の数値目標に寄与することから、要望通りの補助金額を支援する。

【補助予定額】

要望額	3,300千円	補助予定額	3,300千円
-----	---------	-------	---------

【付帯条件】

- ・各イベントの集客状況を把握すること。
- ・アンケートの実施など、事業効果を把握すること。
- ・岩見沢バンドサークル事業と連携した取り組みを実施すること。
- ・団体として事業を実施する旨の意思決定がわかる書面（総会や理事会などの議事録）を提出すること。
- ・「中心市街地活性化事業補助金の事業遂行に関する注意事項」を遵守して、補助事業を実施すること。なお、遵守していない場合には、補助金の交付決定を取り消す場合があります。

事業名	C-31 岩見沢バンドサークル事業
事業者名	株式会社北海道教育楽器

【評価】

協議会の評価は63.7点と一定の評価を受け、構成員からであえーる岩見沢の交流空間や中心市街地の飲食店を活用したライブの集客やライブだけではなく、音楽セミナーの開催により、今後の中心市街地の賑わいの創出に繋がる要素が期待される事業であることから、要望通りの補助金額を支援する。

【補助予定額】

要望額	775千円	補助予定額	775千円
-----	-------	-------	-------

【付帯条件】

- ・PA機器の購入を再検討すること。
- ・他団体と連携し幅広い年代層が参加できる取り組みを実施すること。
- ・各イベントの集客状況を把握すること。
- ・アンケートの実施など、事業効果を把握すること。
- ・今後、どのように自己資金を確保していくかについて提出すること。
- ・中心市街地の飲食店との更なる連携を図ること。
- ・であえーる岩見沢を拠点とした芸術文化事業および情報発信事業と連携した取り組みを実施すること。
- ・団体として事業を実施する旨の意思決定がわかる書面（総会や理事会などの議事録）を提出すること。
- ・「中心市街地活性化事業補助金の事業遂行に関する注意事項」を遵守して、補助事業を実施すること。なお、遵守していない場合には、補助金の交付決定を取り消す場合があります。

○中心市街地活性化基本計画の計画変更（第8回）

6月7日に申請を行っており、来月7月には認定される予定。

変更内容は、以下のとおり。

住宅供給事業7・8地区賃貸住宅整備事業、7条西8丁目に木造2階建て賃貸住宅2棟建設を基本計画に追加。

中心市街地コンバージョン事業、岩見沢市が実施主体となり、空き店舗や空家への店舗改修補助を行う事業を基本計画に追加。

であえーる岩見沢を拠点とした芸術文化及び情報発信事業を基本計画に追加。

ご当地グルメ岩見沢バーガー普及事業を基本計画に追加。

岩見沢バンドサークル事業を基本計画に追加。

○次期岩見沢市中心市街地活性化基本計画の作成について

中心市街地活性化基本計画は今年度で完了の年を迎え、市としては西友が平成21年3月に撤退したのを受け、平成22年11月に中心市街地商業業務集積地区活性化ビジョンを策定しており、この事業の中で位置づけられた事業を2期計画に位置付け、さらなる中心市街地活性化を図るため、次期計画の作成を検討。

現時点の取り組み状況は、中心市街地居住者人口について平成19年の4,741人を基準値として目標値5,000人、昨年12月の基本台帳で4,677人という数字となっている。全市の人口が平成19年から平成23年までに2,900人減少しているという現状からすると総合的にまちなかへの居住は進んできていると考える。次に平日の歩行者通行量は、平成19年5,356人を準値、目標値を5,700人とし、昨年秋の結果が4,369人となっている。平成22年にかなり下がり平成23年には上昇している。西友撤退の影響が大きい、であえーる岩見沢もグランドオープンしており今年はかなり上昇するものと期待している。次に従業者数は、平成19年の8,840人を基準値として8,900人を目標値、平成21年国の統計経済センサスの結果が8,367人、平成22年市の独自調査8,177人ということで、これは経済状況がかなり厳しく新規採用を控える傾向で従業者数が伸び悩んでいるためと考えている。現時点では3つともに目標を達成していない状況。

次に事業の進捗状況は、平成20年11月に認定を受けた時には66事業であったが、7回の計画変更で10事業を追加し76事業となっている。昨年度末の事業の進捗状況は、完了が23事業、実施中のソフト事業が38事業、着手済のハード事業が9事業、未着手6事業となっており、全事業のうち91%が完了あるいは実施中となっており計画に位置付けられた事業は着実に実施されている。

続いて次期計画の作成スケジュールは、現在現状の分析と取組の評価を整理しており、引き続き数値目標の設定、事業検討を行い8月末には素案の作成をしたい。その素案に対し市民セミナーを開催し、意見や事業の募集を行う。11月末には計画案をまとめたいと考えており、計画案を市民に周知しパブリックコメントを実施して、関係機関調整の上、来年2月に計画の認定申請を行いたいというスケジュール。作成の進め方は、素案

作成チームを12人で立ち上げており、8月末までに5回程度会合を持ち素案をつくりたい。

協議会に対し素案を9月、計画案を11月に提示してご協議いただくとともに、来年1月には最終段階の案に対して意見をいただきたいと考えている。市としては次期計画作成の作業を進めて、9月に内閣府との調整があり、この中で現計画の延長か次期計画作成かが調整される。

○岩見沢都市開発㈱特別清算について

ポルタビルの旧所有者である岩見沢都市開発の会社清算が終了したので以下のとおり報告。岩見沢都市開発㈱の特別清算手続き及び固定資産税等の配当見込みについて、2月16日に開催された中心市街地活性化協議会で説明したが、その後札幌地方裁判所から特別清算終結決定が行われ、岩見沢都市開発の会社清算が完了。それに伴い市の固定資産税等の債権について、札幌地方裁判所から一般債権者に債権の全額放棄と残余資金全額を優先債権である固定資産税に支払う協定案が可決。それを元に固定資産税等の市の優先債権に配当があり、地方税法の規定によって固定資産税の滞納処分執行停止と納税義務即時消滅の手続きを完了。市にはこの他に一般債権として、土地の貸付料と水道使用料があり、債権者集会の協定の中で全額放棄と決まっていることから、現在開催中の定例会において債権放棄の議案を提出している。